

## 2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	言語聴覚士学科		科 目 区 分	その他	授業の方法	講義
科 目 名	子ども学		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	15 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	昼間部1年生		学期及び曜時間	前期 月曜2限	教室名	4校舎401教室
担 当 教 員	本田 美子 他	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
子どもの心身の発達を初期的な段階から学習し、理解をすすめて育児・保育につなげていく						
《成績評価の方法と基準》						
学期末試験にて評価を行い、60点以上を合格とする。						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
遠城寺式乳幼児分析的発達検査 DVD「乳児の身体的発達(運動機能の発達)」他						
《授業外における学習方法》						
授業の復習、自分の育ちを振り返るための母子手帳の確認など						
《履修に当たっての留意点》						
子どもが育つ過程について興味をもち、子どもを理解しようとする姿勢をもって積極的に学んでください。						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	出生から新生児期に至るまでの発達の特徴を説明できる。	配布資料	シラバスに目を通し科目の目的を理解する	
		各コマにおける授業予定	子宮の中での成長・出生・新生児期の発達について学ぶ			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	生後3ヶ月頃までの感覚機能と身体運動の基礎を理解する。	配布資料	前回の復習	
		各コマにおける授業予定	出生から生後3ヶ月頃までの身体運動の発達、聴覚・視覚の発達について学ぶ			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	生後12ヶ月頃までの粗大運動・操作的運動のプロセスを述べる。	配布資料	前回の復習	
		各コマにおける授業予定	生後6ヶ月から12ヶ月頃あでの粗大運動、操作的運動について学ぶ			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	発達検査の意義を理解し、感覚統合の視点から全体発達を考察できる。	配布資料	前回の復習	
		各コマにおける授業予定	遠城寺式乳幼児分析的発達検査を通して発達全体を概観する。エアーズの感覚統合の発達過程を学ぶ。			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	子どもの情緒発達における愛着形成の重要性を説明できる。	配布資料	前回の復習	
		各コマにおける授業予定	子どもの情緒の発達について、主に愛着形成や親子関係などについて学ぶ			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	家族の機能と構造を理解し、ジェノグラム等を用いた支援の視点を持てる。	配布資料	前回の復習
		各コマにおける授業予定	親子への援助、家族の機能、ジェノグラムなどについて学ぶ		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	社会資源としての保育所の役割と制度的仕組みについて記述できる。	配布資料 DVD	前回の復習
		各コマにおける授業予定	保育所の役割、仕組みについて学ぶ		
第8回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	集団生活や遊びが子どもの育ちに与える影響を考察できる。	配布資料 DVD	前回の復習
		各コマにおける授業予定	集団の中での生活や遊びを通した育ちを学ぶ		
第9回	講義演習形式	授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			